

事務事業名 中学校放送室 A V 調整卓更新事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：1759

施策：	18	学校教育の充実	財務コード	--
基本事業：	01	教育環境の整備	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	学校施設維持管理の不都合・トラブル件数		担当課	教育政策課
			担当係	庶務担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
生徒・教職員			中学校放送室のAV調整卓が老朽化しており、部品等の廃盤により故障した場合の保守ができないことから、更新工事を行う。 【更新実績】 平成30年度・・・筑紫野中学校						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
生徒が伸びやかに健康で安全に学習ができる									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標
更新未完了学校数		校	1	0	0				
5. コスト									
事業費		計	千円	5,874	5,923	0			
		国	千円			0			
		県	千円			0			
		地方債	千円			0			
		その他	千円			0			
		一般	千円	5,874	5,923	0			
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	800	809	807				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	6,674	6,732	807				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		【更新実績】 平成26年度・・・筑紫野南中学校 平成28年度・・・筑山中学校 平成29年度・・・天拝中学校 平成30年度・・・筑紫野中学校							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	< 状況 > < 原因 > < 課題 >					
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	あり						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は小	業務推進課題	あり						
成果向上余地	大きい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
中学校放送室のAV調整卓が老朽化し、保守サポート終了に伴い修理が不可能なことから、故障すると学校運営に著しい支障をきたす。				備考・特記事項 or 進行管理欄					